

【その他】

- 1) 鈴木 昭：新潟市西区地域福祉計画等策定検討委員会委員として「新潟市西区地域福祉計画・地域福祉活動計画『いきいき西区ささえあいプラン』」策定に参画。平成20年3月27日～21年3月31日。
- 2) 鈴木 昭：新潟県母子家庭及び寡婦自立促進計画検討委員会検討委員（座長）として「新潟県母子家庭及び寡婦自立促進計画」の見直し検討に参画，とりまとめ。平成20年12月25日～平成21年3月31日。
- 3) 鈴木 昭：地域福祉課題の析出と解決の手法（児童虐待をなくす地域づくり）。福祉行政新任職員研修会，新潟県社会福祉協議会，平成20年6月5日。
- 4) 鈴木 昭：障害者（児）福祉の制度とサービス。平成20年度新発田市訪問介護員養成研修「新発田市ふれあい学院」，新発田市社会福祉協議会，新発田市，平成20年7月20日。
- 5) 鈴木 昭：私はこう動いた。新潟市秋葉区子ども虐待予防事業専門研修会，新潟市，平成20年10月3日。
- 6) 鈴木 昭：福祉人材の確保と育成。新潟県老人福祉施設協議会第2ブロック部会研修会，新潟市，平成20年10月24日。
- 7) 鈴木 昭：研究発表3児童福祉分科会 助言・講評。平成20年度「社会福祉施設関係職員研究発表会，新潟県社会福祉協議会，新潟市，平成21年2月24日。
- 8) 大内章嗣，吉江弘正，野村修一，隅田好美，石川裕子，伊藤加代子：新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座，「口腔清掃介助の実際（実習）」，新潟，2008年7月8日
- 9) 福島正義：長期臨床経過例からみた接着性審美修復物の信頼性 - レジンからラミネートベニアまで - ，新潟大学歯学部同窓会首都圏セミナー，東京，キャンパス・イノベーションセンター，平成20年8月24日
- 10) 福島正義：総務報告，日本歯科審美学会ニュースレター，Vol.16，Winter，2008
- 11) 福島正義：庶務報告，歯科審美，20（2），151-153,2008
- 12) 福島正義：会則検討委員会および国内渉外委員会報告，日本歯科審美学会ニュースレター，Vol.17 Summer，2008
- 13) 五十嵐 敦子：第7回 更年期と加齢のヘルスケア研究会 学術会議ラウンドテーブル 2008年11月24日 都市センターホテル No9. 更年期女性と味覚——おいしさの原点（安心・安全）座長名 五十嵐 敦子
- 14) 隅田好美：新潟県難病相談支援センター研修事業 ピアカサポート初心者研修，新潟市，2009年2月27日，3月2日，3月28日，3月29日
- 15) 隅田好美：山形県歯科医師会障がい者歯科研修会 社会福祉の視点を取り入れた口腔ケア—難病患者の主観的ニーズへの支援—，酒田市，2009年3月7日
- 16) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，水原中学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月10日。
- 17) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，水原小学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月20日。
- 18) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，安野小学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月28日。
- 19) 石川裕子：歯科衛生士就労促進研修会「臨床現場での診療補助」富山県，2009年2月22日（日）
- 20) 石川裕子：歯科保健事業従事者研修会 「支援」のための歯科保健指導—コミュニケーションスキルを使用して—，新潟市，2009年3月3日（火）
- 21) 柴田佐都子：「おいしく食べてイキイキ健康」。新潟市委託事業曾野木地区地域包括センターにおける家族介護教室，新潟，2008年7月29日。

歯科総合診療部

【著 書】

- 1) 渡邊清志（分筆）：歯科技工辞典 第1版第17刷，医歯薬，東京，2008。
- 2) 渡邊清志：チェアサイドとラボサイドで共有したい咬合平衡が向上するコンプリートデンチャー製作法～調節彎曲値の改良と歯科技工～，医歯薬，東京，2009。

【論文】

- 1) Komatsu Y, Galicia JC, Kobayashi T, Yamazaki K, Yoshie H. Association of interleukin-1 receptor antagonist +2018 gene polymorphism with Japanese chronic periodontitis patients using a novel genotyping method. *Int J Immunogenet* 35(2) : 165-170, 2008.
- 2) Honma Y, Sugita N, Kobayashi T, Abiko Y, Yoshie H. Lower antibody response to *Porphyromonas gingivalis* associated with immunoglobulin G Fc receptor IIB polymorphism. *J Periodont Res* 2008 43(6) : 706-711, 2008.
- 3) Tsutsumi A, Kobayashi T, Ito S, Goto D, Matsumoto I, Yoshie H, Sumida T. Mannose binding lectin gene polymorphism and the severity of chronic periodontitis. *Jpn J Clin Immunol* 32(1) : 48-52, 2009.
- 4) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, Kobayashi T, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H. Assessment of chromosome 19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 2009. in press.
- 5) Kobayashi T, Murasawa A, Ito S, Yamamoto K, Komatsu Y, Abe A, Sumida T, Yoshie H. Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese adults. *J Periodontol* 2009. in press.
- 6) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H. Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus : a pilot case-control study. *Int J Oral Max Surg* 2009. in press
- 7) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K. Periodontitis associated up-regulation of systemic inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease. *J Periodont Res.* 2009 : in press.
- 8) Domon H, Takahashi N, Honda T, Nakajima T, Tabeta K, Abiko Y, Yamazaki K. Up-regulation of the endoplasmic reticulum stress-response in periodontal disease. *Clin Chim Acta.* 2009 : 401 : 134-140.
- 9) Nakajima T, Amanuma R, Ueki-Maruyama K, Oda T, Honda T, Ito H, Yamazaki K. CXCL13 expression and follicular dendritic cells in relation to B-cell infiltration in periodontal disease tissues. *J Periodont Res.* 43(6) : 635-641, 2008.
- 10) Honda T, Aoki Y, Takahashi N, Maekawa T, Nakajima T, Ito H, Tabeta K, Okui T, Kajita K, Domon H, Yamazaki K. Elevated expression of IL-17 and IL-12 genes in chronic inflammatory periodontal disease. *Clin Chim Acta. Sep;* 395(1-2) : 137-41; 2008.
- 11) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T. Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in the Rat Implantation Model. *Anat. Rec.* 292 : 38-47, 2009.
- 12) 近藤一郎, 小林哲夫, 若林裕之, 山内恒治, 岩附慧二, 吉江弘正. 歯周炎患者におけるラクトフェリン経口投与の影響. *日本歯科保存学雑誌*, 51 (3), 281-291 頁, 2008.
- 13) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美. 新潟大学医歯学総合病院の歯科医師臨床研修における現状と展望. *新潟歯学会雑誌*, 38 (1), 21-22 頁, 2008.
- 14) 藤井規孝. アンテリアガイダンスと咬合支持の回復を図った1症例. *日本補綴歯科学会雑誌*, 印刷中

【商業誌】

- 1) 小林哲夫, 近藤一郎, 若林裕之, 山内恒治, 岩附慧二, 吉江弘正 : ラクトフェリン錠薬による歯周病原細菌の抑制. *歯界展望*. 112 (4), 730-731 頁, 2008.

【研究費獲得】

- 1) 小林哲夫 : 歯周炎感受性に関与する Fc レセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 19592383, 2008.
- 2) 藤井規孝 : 歯科インプラントの生物学的安定に関する検索」科学研究費補助金. 基盤研究 (C) 2007-2008.
- 3) 中島貴子, 井上佳世子 (野澤佳世子) : 制御性細胞の歯周炎病態への関与—慢性化メカニズムを探る—. 科学研究費補助金. 基盤研究 (C) .19592384, 2008.
- 4) 中島貴子 : B細胞由来の炎症性サイトカイン IL-10 が歯周炎病態へ及ぼす影響の検討. 新潟大学プロジェクト

推進経費、奨励研究、2008.

- 5) 石崎裕子, 福島正義, 児玉臨麟, 風間龍之輔: 生体親和性材料開発のための修復物の磨耗量と咬合力に関する研究. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19592196, 2007-2009.
- 6) 石崎裕子: Tooth Wear (咬耗) による象牙質露出に関する疾病罹患調査. 新潟大学プロジェクト推進経費・奨励研究. 2008.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 小林哲夫: 自己免疫疾患患者における歯周炎感受性遺伝子. 第51回春季日本歯周病学会学術大会シンポジウム I 「歯周病の疾患感受性に関わる遺伝子解析」, 大宮, 2008年4月25日, 日本歯周病学会会誌 第50巻春季特別号 66-67頁, 2008.
- 2) 小林哲夫, 近藤一郎, 若林裕之, 山内恒治, 岩附慧二, 吉江弘正: 歯周炎患者へのラクトフェリン経口投与による臨床, 細菌, 生化学的变化. 第1回歯周病・ラクトフェリンフォーラムパネルディスカッション, 大宮, 2008年4月27日, 同フォーラムプログラム・要旨集: 5頁, 2008.
- 3) 藤井規孝「インプラントの咬合」. (社)日本口腔外科学会 北日本リフレッシュセミナー, 新潟, 2008年5月17日.
- 4) 渡邊清志: 歯科技工概論「全部床義歯の臼歯部人工歯排列(理論編) —Full Balanced Occlusion & Lingualized occlusion について—」, 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校, 東京都, 2008年7月.
- 5) 小林哲夫: 歯周病: 全身との関わりと遺伝子(ゲノム)診断. 第23回佐渡総合病院祭佐渡プロジェクト講演, 佐渡, 2008年10月26日.
- 6) 小林哲夫, 若林裕之, 近藤一郎, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: ウシラクトフェリン経口投与による歯周病原細菌の抑制. 第3回ラクトフェリンフォーラムシンポジウム, 東京, 2008年11月30日. 同フォーラム要旨集: 15頁, 2008.
- 7) 渡邊清志: 歯科技工概論「全部床義歯の臼歯部人工歯排列(実技編) —Full Balanced Occlusion & Lingualized occlusion について—」, 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校, 東京都, 2009年1月.

【学会発表】

- 1) Kobayashi T, Ito S, Yamamoto K, Sumida T, Yoshie H: Gene Polymorphisms in Rheumatoid Arthritis and Periodontitis in Japanese. The 4th Pan European Federation of International Association for Dental Research. London, UK, September 11, 2008. Conference program and abstracts: 164 page, 2008.
- 2) Nakajima T, Amanuma R, Aoki Y, Honda T, Okui T, Domon H, Kajimta K, Takahashi N, Maekawa T, Ito H, Tabeta K, Yamazaki K. Lymphoid and inflammatory chemokine expression in chronic periodontitis lesions. 86rd General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Toronto, Canada, July.5, 2008
- 3) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Uoshima K, Nomura S, Maeda T. The long-term response of the bone surrounding a titanium implant in the rat maxilla; the detailed process of bone remodeling following osseointegration. 18th Annual Scientific Meeting of Australian and New Zealand Bone and Mineral Society, Melbourne, 2008. 8.28-30. Abstract Book: 88, 2008.
- 4) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Uoshima K, Nomura S, Maeda T. Bone remodeling following osseointegration in a rat maxilla implantation model. 86th General session of international association for dental research, 32th Annual Meeting of the CADR, Toronto. 2008. 7.2-5. J. Dent. Res., 87 (Spec Iss B): 3286, 2008.
- 5) Ishizaki H., Fukushima M.: Quantitative Analysis of Proximal Wear of Human Enamel in vivo. IADR 86th General Session & Exhibition, Toronto, July 2-5, 2008, CD-ROM of Abstracts, Journal of Dental Research vol. 87, Special Issue B, Abstract #3162, 2008.
- 6) 羽下麻衣子, 藤井規孝, 野澤-井上佳世子, 野村修一, 魚島勝美, 前田健康. ラット上顎骨におけるチタンインプラント周囲骨組織の長期的変化. 第113回日本解剖学会総会・全国学術大会, 大分, 2008. 3.27-29. 解剖学会雑誌, 83 (Suppl): 184, 2008.
- 7) 近藤一郎, 小林哲夫, 若林裕之, 山内恒治, 岩附慧二, 吉江弘正: 歯周炎患者におけるラクトフェリン経口投与の影響. 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008年4月25日, 日本歯周病学会会誌 第50巻春季特

別号：211 頁，2008.

- 8) 若林裕之, 山内恒治, 小林哲夫, 近藤一郎, 吉江弘正, 八重島智子, 岩附慧二:ウシラクトフェリンとラクトフェリンBの歯周病原菌に対する抗菌活性, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008年4月25日, 日本歯周病学会会誌 第50巻春季特別号:112頁, 2008.
- 9) 中島貴子, 天沼亮子, 青木由香莉, 本田朋之, 奥井隆文, 土門久哲, 梶田桂子, 高橋直紀, 前川知樹, 伊藤晴江, 多部田康一, 山崎和久:歯周炎組織における炎症性および恒常性維持ケモカインの発現バランス. 日本歯科保存学会2008年度春季学術大会(第128回), 新潟, 2008年6月5日, 日本歯科保存学会雑誌 第51巻春季特別号 p102, 2008.
- 10) 羽下麻衣子, 藤井規孝, 魚島勝美, 野村修一. ラット上顎骨におけるチタンインプラント周囲骨組織の長期的変化. 日本補綴歯科学会第117回学術大会, 第1回日本・中国・韓国補綴歯科学会共催学術大会 課題講演, 名古屋, 2008.6.6-8. 日本補綴学会誌, 52 (Suppl): 124, 2008.
- 11) 石崎裕子, 韓臨麟, 岡本明, 興地隆史:各種ドリンクがフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会2008年度春季学会(第128回), 新潟, 2007年6月5-6日, 日本歯保存誌 51(春季特別号), 76頁, 2008.
- 12) 山崎和久, 多部田康一, 中島貴子, 前川知樹, 高橋直紀, 梶田桂子, 奥井隆文, 土門久哲, 本田朋之, 伊藤晴江:歯周炎マウスモデルにおける口腔内感染が血清脂質, 大動脈組織の遺伝子発現変化に与える影響—歯周炎が全身に与える影響のエビデンス—. 第29回日本炎症・再生医学会, 東京, 2008.7.10. 炎症・再生 28巻4号, プログラム予稿集:358, 2008.
- 13) 多部田康一, 前川知樹, 高橋直紀, 梶田桂子, 奥井隆文, 土門久哲, 伊藤晴江, 中島貴子, 山崎和久:Oral infection of periodontal bacteria effects on serum lipid levels and gene expression profiles of the aorta in mice model -Systemic influence of periodontitis-. 第40回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 筑波, 2008.7.10-11.
- 14) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齊藤 力:研修歯科医の職業性ストレスに関するアンケート調査. 第27回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 東京, 2008年7月11-12日, 日本歯科医学教育学会雑誌プログラム・抄録集:116頁, 2008.
- 15) 近藤一郎, 小林哲夫, 吉江弘正:歯周炎患者におけるラクトフェリン経口投与の影響, 平成20年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2008年7月19日, 新潟歯学会雑誌 38(2):130頁, 2008.
- 16) 高橋直紀, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 中島貴子, 多部田康一, 工藤直英子, 高柴正悟, 苔口進, 西村英紀, 山崎和久:歯周病原細菌に対する血清抗体による冠動脈心疾患リスク判定の有用性の検討. 第1回日本口腔検査学会総会・学術大会, 東京歯科大学水道橋校舎 血協記念ホール, 2008.8.23. プログラム抄録集:22, 2008.
- 17) 羽下麻衣子, 藤井規孝, 野澤-井上佳世子, 魚島勝美, 前田健康. ラット上顎骨におけるインプラント周囲骨組織. 第50回歯科基礎医学会学術大会・総会, 有明, 2008.9.23-25. 歯科基礎医学会雑誌, 50(抄録集):139, 2008.
- 18) 山本幸司, 小林哲夫, 横山智子, 安孫子宜光, 吉江弘正:歯周炎感受性タンパク質の網羅的解析(第1報)抗リコンビナント *Porphyromonas gingivalis* 40kDa OMP 抗体刺激による末梢血好中球のプロテオーム解析第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008年10月19日, 日本歯周病学会会誌 第50巻秋季特別号:91頁, 2008.
- 19) 本田朋之, 青木由香莉, 高橋直紀, 前川知樹, 中島貴子, 伊藤晴江, 多部田康一, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 吉江弘正, 山崎和久:歯周炎組織におけるTh17サイトカイン/マーカーの遺伝子発現解析 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008年10月19日, 日本歯周病学会会誌第50巻秋季特別号 p88 2008.
- 20) 奥井隆文, 伊藤晴江, 本田朋之, 中島貴子, 多部田康一, 吉江弘正, 山崎和久:歯周炎組織から樹立したCD4+T細胞ラインにおけるTh17関連分子の解析 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008年10月19日, 日本歯周病学会会誌第50巻秋季特別号 p89 2008.
- 21) 中島貴子, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 伊藤晴江, 多部田康一, 山崎和久:歯周炎が血清中の動脈硬化関連炎症マーカーに及ぼす影響 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008年10月19日, 日本歯周病学会会誌第50巻秋季特別号 p123 2008.
- 22) 小林哲夫, 近藤一郎, 若林裕之, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正:歯周病の予防・補助的治療のためのラクトフェリン. 第21回日本歯科医学会総会, ポスターセッション, 横浜, 2008年11月15-16日. 日本歯科医師会雑誌 61(5) 2008-8:150頁
- 23) 中島貴子, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 高橋直紀, 前川知樹, 天沼亮子, 伊藤晴江, 多部田康一,

山崎和久：歯周疾患が脂質代謝に及ぼす影響 第21回日本歯科医学会総会，横浜，2008年11月16日，日本歯科医師会雑誌61(5)：151; 2008.

- 24) 渡邊清志, 福島正義: ポーセレンラミネートベニア修復法の臨床的評価 part2, 第4回国際歯科技工学会大会(第30回日本歯科技工学会学術大会), 2008年11月23日, 大阪国際会議場, 大阪市

【研究会発表】

- 1) 小林哲夫, 伊藤 聡, 黒田 毅, 山本幸司, 杉田典子, 成田一衛, 住田孝之, 下條文武, 吉江弘正: 関節リウマチ患者における歯周炎感受性遺伝子多型の解析. 第8回新潟ゲノム医学研究会, 新潟, 2008年6月14日.
- 2) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美: 新潟大学歯学総合病院における研修歯科医担当患者数の推移. 総合診療を考えるセミナー, 広島, 2008年8月3日
- 3) 中島貴子, 小林哲夫, 藤井規孝, 石崎裕子, 魚島勝美: 歯科大学における総合診療研修プログラム—習熟度別の臨床研修の有効性について—. 総合診療を考えるセミナー, 広島, 2008年8月3日

【受賞】

- 1) 小林哲夫, 若林裕之, 近藤一郎, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: ウシラクトフェリン経口投与による歯周病原細菌の抑制. 第3回ラクトフェリンフォーラム フォーラム賞, 2008年11月30日.

【その他】

- 1) 小林哲夫, 魚島勝美, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 渡邊清志: 平成20年度歯科医師臨床研修症例報告集第9号. 新潟大学歯学総合病院, 新潟, 2009年3月20日.

インプラント治療部

【著書】

- 1) 魚島勝美(分担): クラウンブリッジテクニック, 17-21頁, 医歯薬出版, 東京, 2008.
- 2) 富塚 健(分担): 疾患編 歯・口腔疾患「歯周疾患」, 看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかるケアがわかる 第1版, 1094-1098頁, メジカルフレンド社, 東京, 2008.

【論文】

- 1) Kubota T, Itagaki M, Hoshino C, Nagata M, Morozumi T, Kobayashi T, Takagi R, Yoshie H: Altered gene expression levels of matrix metalloproteinases and their inhibitors in periodontitis-affected gingival tissue. J Periodontol 79: 166-173, 2008.
- 2) Kubota T, Itagaki M, Morozumi T, Maruyama S, Nakasone N, Saku T, Yoshie H: A case report of multiple-drug-induced gingival overgrowth with TIMP-3 over-expression. Oral Med and Pathol 12: 127-134, 2008.
- 3) E. Corbet, J. Akinwade, R. Duggal, G. Gebreegziabher, H. Hirvikangas, D. Hysi, L. Katrova, T. Karaharju-Suvanto, C. McGrath, K. Ono, M. Radnai, E. Schwarz, J. Scott, J.-L. Sixou, U. Soboleva, K. Uoshima, K. Yaneva-Ribagina and C. Fox: Staff recruitment, development and global mobility. Eur J Dent Educ 12 : 149-160, 2008.
- 4) Nakadate M., Amiduka N., Minqi Li, Paulo H.L. Freitas, Oda K., Nomura S., Uoshima K. and Maeda T. : Histological evaluation on bone regeneration of dental implant placement sites grafted with a self-setting α -tricalcium phosphate cement. Microscopy Research and Technique 71: 93-104, 2008.
- 5) Kurokawa A., Nagata M., Kitamura N., Noman A., Ohnishi M., Ohyama T., Kobayashi T., Shingaki S., Takagi R., for Oral and maxillofacial pathology and surgery group: Fujita H., Kurita H., Saito C., Hoshina H., Saku T.: Diagnostic value of ITGA3, ITGB4 and ITGB5 expression levels for the clinical outcome of tongue squamous cell carcinoma. Cancer 112: 1272-1281, 2008.
- 6) Katsura K., Sasai K., Sato K., Saito M., Hoshina H., Hayashi T.: Relationship between oral health status and development of osteoradionecrosis of the mandible; A retrospective longitudinal study. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 105: 731-738, 2008.
- 7) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T. : Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in the Rat Implantation Model. Anat Rec 292: 38-47, 2008.